

## **博報堂DYメディアパートナーズ2011年度入社式社長挨拶**

株式会社博報堂DYメディアパートナーズは4月1日(金)午前10時、東京都港区赤坂の本社に新卒採用者13名を迎え、大森壽郎社長以下、役員および部門長が出席し、2011年度入社式を行いました。

新入社員がひとり一人紹介された後、大森社長が歓迎と激励の言葉を贈り、新入社員代表が決意の言葉を述べ、式を終了しました。

大森社長挨拶の趣旨は以下の通りです。

皆さん、入社おめでとうございます。

今日ここに13名の新しい仲間を迎えることができました。私をはじめ、博報堂DYメディアパートナーズ、さらには博報堂DYグループの全員で皆さんを歓迎します。共に歩む仲間が増えたことを本当に嬉しく思います。

3月11日、地震と津波が東北・関東地方を襲いました。今も続く混乱の中で、私たちのパートナーであるメディア各社が、まず報道機関として、そして新しい一歩を踏み出すための、元気を与える牽引車として、大きな役割を担っていることを実感しました。また、ソーシャルメディアは情報と共感を広げていく機能を果たし、活躍していることも、メディア環境の変化です。

改めて、皆さんが入社した今年は、震災被害というマイナス面だけではなく、7月に控える地上波デジタル完全移行というプラスの面もあわせて、前にも後にも例のない正に激動の年となることは間違いありません。

その中で、私たち博報堂DYメディアパートナーズも、総合メディア事業会社として情報提供の基盤を支え、社会が前に進む手伝いをする責任があることを強く感じます。これから明るさを取り戻していくべき新しい日本に向けて、私たちに何ができるのかが試されています。

私たちが行う様々な活動の起点は、当社の企業理念である、「メディア効果をデザインする」にあります。そして、メディア・コンテンツの価値を高め、企業のマーケティング

課題を解決するためのソリューションを提供する「統合コミュニケーション」の積み重ねを通じて、日本に活力を与え続けていく。私たちの仕事とは、メディア・コンテンツホルダーと共に、企業や生活者、ひいては社会を明るくすることです。

ここにいる13名を含めた社員全員の力を合わせて、博報堂DYメディアパートナーズを社会から信頼され、存在感のある企業に成長させていきたいと思います。

皆さんがこの会社で活躍してもらうために、一番望むことは「たくましくあれ」ということに尽きます。

これまでの人生には、何かしらの課題が前もって用意されていたことが多かったはずですが、これからは課題自体を自分で見つけなければなりません。また、皆さんが直面するであろう課題の正解は一つではありません。多くの正解、を探し出すためには、失敗を恐れずに行動するしかありません。

つまり、皆さんが活躍していくには、漫然とした思いや意気込みだけではなく、常に自分に何ができるかを考え、具体的に行動する「たくましさ」が必要です。

私がイメージする「たくましさ」とは、くじけず、あきらめずに、知恵を振り絞って動き続けるエネルギーです。この一年間、「たくましさ」を身に付け、磨くために、特に実行していただきたいことが3つあります。

まずは、「行動の数を増やす」ということです。

成功するためには、とにかく多くの打席に立つことです。打席に立つ回数が増えれば失敗の数も多くなるでしょう。失敗をしないために行動しないのではなく、成功するために数多く行動することが必要です。自分が打席に立てる機会をできるだけ多く求める積極性を身につけてください。

次に、「知り合いを多く作る」ということです。

さまざまな行動を通して、社内外にこだわらず人脈を開拓してください。そして、知り合った人からたくさんのかんことを吸収してください。分からないことがあることは恥ずかしいことではありません。恥ずかしいのは分からないことを分からないままにしておくこと

です。どんどん質問してください。自分を助けてくれる人がたくさんいるという強みを皆さんは持っています。

最後が、「企てる」ということです。

行動から学び、人から情報を得る。ある時は本を読むことで自らの考えを補い、実現すべきゴールを思い描いて行動する意思が重要です。「企てる」ことは、自分の決めたことを実現するために、必死になって考え、手を尽くし、心を尽くして行動することです。自分が情報の真ん中に立てば、自ずと入ってくる情報量が増えます。情報を武器にして、実現にこだわるしつこさを身につけてください。「企てる」ことで、初めて行動に意思が伴います。意思の伴った行動は、周りを動かす力を持ちます。その力を身につけてください。

私は、2011年の年頭、皆さんの先輩方に対して、「前へ、出る。」と話をしました。総合メディア事業会社として、メディア・コンテンツホルダー、クライアント、生活者の前に出て行くことで、私たちにしかできないことを積極的にやっていこうという意味を込めたつもりです。

新人だからといって臆することなく、前に向かって「たくましく」、広告マンとしてのキャリアをスタートさせてください。私をはじめとする先輩たちには、皆さんの全てを受け止める用意があります。遠慮なく、ぶつかってきてください。

時には苦しいこともあるでしょう。しかし、「いい仕事」を積み重ねていくことで、人間としても磨かれ、一層たくましくなり、価値のある「自分らしさ」が見つかるはずです。

皆さんの大いなる成長に、期待しています。

以上

2011年4月1日  
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ  
広報室広報グループ 加藤・山崎  
(TEL 03-6441-9347)